

事務事業評価シート(平成22年度実績分)

(1) 事務事業の名称・位置づけ【Plan1】

白色のセルのみ入力してください。(コメントを見ながら入力)

事務事業コード	事務事業名	担当課	担当係名	所属長(課長等)名	担当者係長名
02105	Uターン・Iターン支援事業	まちづくり政策課	まちづくり係	一ノ瀬 元広	一ノ瀬 敏樹
		一次評価年月日	平成 23 年 6 月 8 日	連絡先(内線)	2221
事務事業実施の根拠・位置づけ	予算における位置づけ(会計区分・事業コード・事業名)	<input type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> 特別	0207	企画事務	
	<input type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> 特別		#N/A		
	第四次総合計画後期基本計画の施策体系における位置づけ	章 (コード選択)	3章	夢のある地域形成	
		節 (コード選択)	2節	農山村地域を活性化する	
		項[基本施策] (コード選択)	322	集落の環境整備と誘導	
主な取り組み (コード選択)		3223	Uターン・Iターン・Jターンの誘導・支援		
関連する計画等への位置づけ	<input type="checkbox"/> 第四次行財政改革大綱 <input type="checkbox"/> 3ヶ年実施計画 <input type="checkbox"/> 主要業務報告 <input type="checkbox"/> その他				
事務期間	(開始) 17 年度 ~ (終了予定) 年度	<input type="checkbox"/> 開始時期不明	<input type="checkbox"/> 終期設定なし		

(2) 事務事業の内容(目的と手段を把握します。【Plan2】

①対象(～に対して)……この事務事業はどんな人(誰・何)を対象に行っていますか。

町を離れて都会に在住している人
都会に暮らして田舎暮らしを考えている人

②目的(意図)(～という状態にするために)……この事務事業のサービスを提供することによって対象をどういう状態にしたいのですか。

町への定住人口の増加や交流活動の活性化

③手段(事業内容)(～を行う)……上記①の対象に対して、どのような手段で②の目的(意図)を達成するか、事業の実施内容(サービスの概要)を記入します。

- 県及び市町村で構成されている「楽園信州」に参加し移住・交流に対する積極的なPRを行っていく。
- 空き家情報の収集・管理
- 土地開発公社と連携し住宅地の確保
- 移住希望者のニーズの把握

(3) 活動指標の設定と推移……(2)の③サービスの概要(手段)の指標を表します。【Do1】

区分	単位	実績値		計画値		最終目標年度			
		21年度	22年度	22年度	達成率	22	年度(見込み)		
①	指標名	田舎暮らし「楽園信州」に参加し、PR活動を行う		回	0	1	1	1.00	1
	説明	上記主催のセミナーに参加し、PR活動を行う。(関東・中京圏)		目標値設定の根拠	年1回行われているセミナーへの参加				
②	指標名	施策によるU・Iターン者数		件	0	0	2	0.00	0
	説明	実際に移住に結びついた人数		目標値設定の根拠	過去の実績を考慮しての数値				

(4) 成果指標の設定と推移……(2)の②目標(意図)の達成度を指標で表します。【Do2】

区分	単位	実績値		計画値		最終目標年度			
		21年度	22年度	22年度	達成率	22	年度(見込み)		
①	指標名	セミナーでのヒアリング数		組	0	5	5	1.00	5
	説明	大都市圏でのセミナーに参加し、来場した移住希望者とのヒアリング		目標値設定の根拠	実績からの数値				
②	指標名	施策によるU・Iターン者数		件	0	0	2	0.00	0
	説明	実際に移住等に結びついた人数		目標値設定の根拠	近隣市町村への移住実績等を考慮しての数値				

(5) 総事業費(コスト)の推移【Do3】

※事業費の算定方法

決算書・予算書等に記載の数字

按分計算による算定

○総事業費(コスト概算)	=①+②	(千円)	1,544	1,550	1,599	1,539						
対前年比		%		100.3	103.2	96.2						
A) その他の財源(国庫支出金・県支出金・地方債・分担金・使用料・雑収入など)			0	0	0	0						
B) 一般財源(税金)			1,544	1,550	1,599	1,539						
①事業費		(千円)	0	0	27	27						
対前年比		%				100						
②人件費の概算		(千円)	1,544	1,550	1,572	1,512						
対前年比		%		100.3	101.5	96.2						
			課長	課長補佐	係長	一般職員	延べ人数	年間人件費	年間人件費	年間人件費	年間人件費	
			H21 H22 H23	H21 H22 H23	H21 H22 H23	H21 H22 H23	H20 H21 H22 H23	/	/	/	/	
町職員(正規職員)			0.00 0.00 0.00	0.00 0.00 0.00	0.00 0.00 0.00	0.25 0.25 0.25	0.25 0.25 0.25	1,544	1,550	1,572	1,512	
臨時職員			人数及び人件費の算出は別シートで計算となっています。(人件費計算式)シート				0.00 0.00 0.00	0.00 0.00 0.00	0	0	0	0

指標化

(6) 項目別評価 [Check]

視点	項目別評価	判定	評価結果
必要性	1. 事業のニーズに変化はありますか	B	A 増加傾向にある B 変化していない C 減少傾向にある D かなり減少している
	2. 町(行政)が関与する必要性がありますか	B	A 町が主体となる必要がある B 町以外の主体で実施できるが町の関与は必要 C 町も関与するが関与の度合いを縮小できる D 町の関与のあり方を再検討する
目的妥当性	3. 対象の設定は妥当ですか	A	A 対象は現在の設定が妥当である Bの場合その具体的な内容をお書きください B 対象の変更の余地がある
	4. 目的(意図)の設定は妥当ですか	A	A 目的(意図)は明確で上位の施策に合致している Bの場合その具体的な内容をお書きください B 目的(意図)は上位の施策に合致していない点がある
有効性	5. 期待された成果は得られましたか(成果指標の目標値への達成度)	C	A 期待したとおりの成果があった C・Dの場合その具体的な内容をお書きください B 概ね期待したとおりの成果があった C 期待したほどの成果が得られなかった 移住希望者の条件に合う空き家等の居住環境の確保ができないため。 D 成果が少なく今後も向上する見込みがない
	6. 連携可能な事務事業はありますか(町以外の取り組みも含めて)	A	A すでに実施している A・Bの場合その具体的な内容をお書きください B 今後は可能性がある 県の観光部・田舎暮らし案内人事業との連携 C 今後可能性はない 町産業振興課との連携
効率性	7. 成果を下げずにコスト(事業費・人件費)を削減できますか	A	A 余地なし C・Dの場合その具体的な内容をお書きください B 当面は余地なし C 一部余地あり D かなり余地あり
公平性	8. 受益者負担は適切ですか	A	A 検討の余地なし C・Dの場合その具体的な内容をお書きください B 当面検討の余地なし C 一部検討の余地あり D かなり検討の余地あり
その他	9. 現在の事業内容(サービス)に対して、対象の声やニーズを把握していますか	B	A アンケートなど具体的な方法で把握している A・Bの場合その具体的な把握方法を、Cの場合その理由をお書きください B 日常業務の中で把握している 移住希望者からの電話、メール等による問い合わせの中で把握している。 C 把握していない

(7) 改革改善 [Action]

今後の方向性(上記評価結果をもとに今後の方向性を記入します。) **口を一つチェックしてください。**

- ア. 現状のまま継続する イ. 見直しのうえで継続する ウ. 終期設定 エ. 廃止 オ. 休止

〈今後の展開方針〉(イを選択した場合のみ口を一つチェックしてください)

- a 重点化する(コストを集中的に投入する等)
 b やり方を改善する(実施主体や実施の手段を変える)
 c 効率化を図る(コストを下げる)
 d 縮小する(簡素化する)
 e その他(別事務事業に統合する等)

(ウ・エ・オを選択した場合のみ記入してください)

時期(年度)

事業改善の経過

(前年度で記入した事業の方向性の具体化内容についての評価やこれまでに事業改善をした経過を記入します。)

「楽園信州」等を活用し、県内市町村と情報交換を実施する。
 空き家などの居住環境の情報収集・管理

事業の方向性の具体化

(誰が、何を、いつまでに、どうするか(5W1H)等の改革改善案を記入します。)

23年度予算見積書への反映 あり なし

移住・交流を推進することは地域活性化のための切り札と位置づけ、関係課(産業振興課、保健福祉課、病院など)と連携し、さらには宅建事業者など外部からの情報提供を受けて移住希望者のニーズとのマッチングを図る。その組織作りを平成23年度に検討する。

[反映内容]

「楽園信州」の参加負担金、セミナー参加の旅費

(8) 所屬長 所見 (事務事業の総合評価及び今後の方向性について)

(評価事務事業の責任者の意見として、総合的な評価に関する所見を記入します。)

上位の施策の推進に貢献していますか。口をチェック

受け入れ態勢整備のための空き家情報の収集を図る。町県等の宣伝媒体、セミナー等による宣伝を行う。

- A. 貢献度 大 D. 上位施策なし
 B. 貢献度 中
 C. 貢献度 小

(今後の方向性 口を一つチェックしてください。)

- ア. 現状維持 イ. 見直しのうえで継続する ウ. 終期設定 エ. 廃止 オ. 休止



b 上記 a~e を選択